Creative Enzymes®

ネイティブ牛自動活性化プロテインキナーゼ

Cat. No. NATE-0042

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	自己活性化プロテインキナーゼは、プロテインホスファターゼ2Aをリン酸化し、不活性化します。この機能は、アポトーシス細胞で生成されるp21活性化p65（PAK）プロテインキナーゼの触媒ドメインに関連しているようです。AKはまた、細胞骨格の組織化や他のシグナル伝達プロセスにも関与しています。
別名	AK; 自動活性化プロテインキナーゼ

製品情報

種	ウシの
由来	牛の腎臓
形態	水溶液
活性	約17,000ユニット/mgタンパク質
緩衝液	1バイアルあたり50 ng、10 µlの50 mM Tris-HCl（pH 7.0）に、14 mM β-メルカプトエタノール、1 mM ベンザミジン、0.1 mM PMSF、1 mM EDTA、65% エチレングリコール、0.1% Brij 35を含む。

保管・発送情報

安定性	−70°C